

平成 29 年 11 月 27 日

生活支援サポーター各位

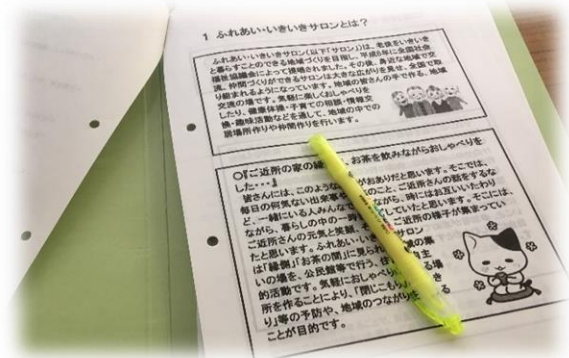
～生活支援サロン～ よってけ場^ほ 活動レポート Vol. 3

11月24日金曜日、午前10時から役場内大会議室で、3回目のサロン活動が行われました。朝から雪が降りしきり、足場も悪い中での開催となり、色々と不安でしたが、無事に少し前へ進める事が出来て良かったです。参加されたサポーターの皆さん、お疲れ様でした！

グループ分けの後、簡単な自己紹介と併せて「好きな物(事)」についてお話しすることからスタートしました。

前半は、今後のサロンの方向性について確認する時間をとりました。具体的に他市町のサロン活動の例を見ながら、今後の活動をイメージしてみようという試みです。

今回ピックアップしたのは月形町と赤平市のサロン活動でした。



月形町は上砂川町と同じくらいの人口で、およそ5年前からサロン活動を行っています。今回の資料には月形町の生活支援コーディネーターにお願いして送ってもらったパンフレットを、そのまま載せさせてもらっています。色々と参考になるので、サロンに来られなかった方も是非、目を通してもらえると嬉しいです。

赤平市はかなり早い時期から談話会やサロン活動を行っており、空知管内では生活支援活動の先進地です。実際に活動の様子を視察してきたので、見た事や感じた事を色々とお話ししました。多世代交流のイベントとしては大がかりで立派なものでした。また、サロン活動を軸にして、件数は少ないながらも、実際に生活支援サービスが始まっていることにも触れました。今後の活動の参考になるかと思います。

サロンでもお話ししたように、上砂川でいきなり同じことをしようとは思いません。あくまでも、将来的に目指していきたいサロンの形のひとつとして、紹介させていただきました。

後半はまず、前回の相談事でもあった、サロンの名前について話し合いました。お気付きの方もいらっしゃるかと思いますが、このレポートの名前が変わっていますね。

前回出された案をもとに、サロン参加者で協議した結果、「よってけ場（ば）」という名前に決まりました！

もともと炭鉱町だった上砂川町には、「向こう三軒両隣」のような気風があったことや、「寄ってけば？ お茶でも飲んで行ったら良いしょ！」という、気楽に誰でも参加できるような雰囲気、少しずつ復活して行けば良いという思いも語られました。

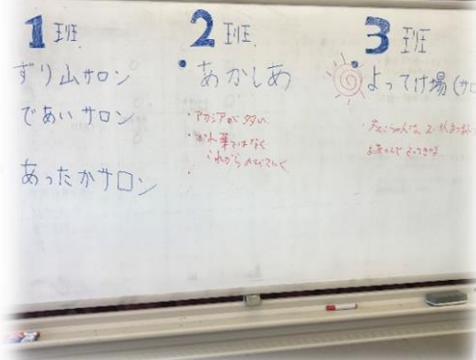
他にも魅力的な名前の候補がたくさんありました。生活支援活動が本格的に回りだしたら、サポーターグループの名前も一緒に考えてみたいと思っています。



今回はサロンのモットー（基本方針、座右の銘）についても少しだけ話し合いました。また、今後の活動を具体的に立案していくことにも触れ、第4回では、そのあたりに時間を割くことになるかと思っています。

そして最後に、町に新しく出来た「まちの駅 ふらっと」の見学をさせていただきました。

今後、何か具体的なイベントなどで活用できるといいですね。



第4回

12月 8日（金）午前 10：00 ～ 12：00

第5回

12月 19日（火）午後 13：30 ～ 15：30

いずれも 役場内2階 大会議室

※ 開催日時や場所を変更する場合があります。

変更した場合はその都度お知らせいたします。